

# BFシリーズ (GOBLET)



複合材料を対象に開発したひずみゲージで、被測定物への拘束効果を小さくするため、当社独自の特殊なグリッド形状をしたひずみゲージです。対象材料の線膨張係数 $3,5,8 \times 10^{-6}/^{\circ}\text{C}$ を用意しておりますので、セラミック、カーボン、複合材料等にご使用ください。CEマーキング(RoHS2 指令適合)を付与し、GOBLET(ゴブレット)シリーズに加わりました。



使用温度範囲	-30~+200°C	適用接着剤	
温度補償範囲	+10~+80°C	CN	-30~+120°C
		NP-50	-30~+200°C
		EB-2	-30~+200°C

下記の要領で型名をご指定ください。

**BFLAB -2 -3 -3LJC-F**

CE適合リード線  
温度補償対象材料  
ゲージ長  
ゲージシリーズ名

温度補償対象材料 (線膨張係数  $\times 10^{-6}/^{\circ}\text{C}$ )  
-3, -5, -8: 複合材料 (ゲージベース上に標記あり)  
※ BFシリーズのベースの色は対象材料に関わらず、すべて同じになります。

ゲージパターン	型名	ゲージ (mm)		ベース (mm)		抵抗値 (Ω)	
		長さ	幅	長さ	幅		
<p>●単軸</p> <p>対象材料の線膨張係数 (3,5,8)</p>	単軸						
		BFLAB-2	2	0.9	7.6	2.5	120
		BFLAB-5	5	1.5	12.3	3.3	120
<p>●2軸 0°/90° 分散型</p>	2軸 0°/90°						
		BFCAB-2	2	1.3	8	8	120
		BFCAB-5	5	1.5	11.5	11.5	120
<p>●3軸 0°/45°/90° 分散型</p>	3軸 0°/45°/90°						
		BFRAB-2	2	1.3	8	8	120
		BFRAB-5	5	1.5	11.5	11.5	120

プラスチックを母材とした、ガラス(GFRP)・炭素(CFRP)・アラミド繊維(AFRP)による複合材料は、繊維の方向により弾性係数や、線膨張係数が異なります。複合材料のひずみ測定は、材質と繊維方向を十分に配慮して実施してください。

- ・ご注文は10枚単位で承ります。
- ・リード線付け加工が可能です。(受注生産)

## BFシリーズ推奨 ひずみゲージ専用リード線 (受注生産)

東京測器研究所のひずみゲージはお客様のご要望にお応えするために、数多くのひずみゲージ専用リード線を用意しております。組合せについての詳細は43～51頁を参照してください。CE対応ひずみゲージGOBLETシリーズでは、無鉛はんだ対応リード線のみ取り扱いになります。

### リード線の種類と表記

使用目的	品名	リード線の使用温度範囲(°C)	型式例
一般測定 (温度変化無し)	平行ビニール線 LJC/LJC-F	-20 ~ +80	BFLAB-2-3-3LJC-F
一般測定	3平行ビニール線 LJCT/LJCT-F	-20 ~ +80	BFLAB-2-3-3LJCT-F
中高温	3平行特殊ビニール線 LXT / LXT-F	-20 ~ +150	BFLAB-2-3-3LXT-F
高温	3本より線FEP線 6FAOLT/6FAOLT-F	-269 ~ +200	BFLAB-2-3-6FA3LT-F
	3本より線FEP単心線 6FBOLT/6FBOLT-F		BFLAB-2-3-6FB3LT-F

※ ○はリード線長